

事業所名

放課後等デイサービス 楽々

支援プログラム

作成日

6年

9月

30日

法人（事業所）理念	乳幼児から高齢者までの障がいのある人が共に社会の一員として可能な限り、充実して普通の生活を送る事ができるように、共に支え合う心“共助の精神”をモットーに身体・精神の両面から一視同仁の援助を行なってまいります。								
支援方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用児及びその保護者等の意思及び人格を尊重し、適切な支援を提供する。</li> <li>2. 利用児が日常生活における基本動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適應することができるよう、お子様の身体、精神の状況、置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。</li> <li>3. 学校、相談支援、他療育施設、各関係機関等との密接な連携を図り、総合的・一体的なサービスの提供に努める。</li> <li>4. 利用児の人権の擁護、虐待の防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに、従業者に対し研修を実施する等の措置を講ずる。</li> <li>5. 児童福祉法及び「児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準」に定める内容のほか、関係法令等を遵守し、事業を実施する。</li> </ol>								
営業時間	月～金 土	10 9	時 00 00	分 18 15	時 00 00	分 00 00	分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	生活習慣や生活リズムの形成、基本的な生活スキルの獲得 ・楽しい食の時間を支える為、口腔機能の向上、姿勢保持、それぞれの発達に合った食器の持ち方や自助具の使用等、必要な支援を行う。 ・食事、排泄、更衣、身の回りを清潔に保つこと等、基本的な生活スキルの獲得や習熟に繋がる指導や遊びの提供を行う。							
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 ・遊びを通し、楽しみながら身体機能（粗大運動・微細運動）の向上を目指す。 また、お子様の課題に合わせて、バランス感覚の強化、複数の動きの統合を図る。							
	認知・行動	集団生活を通して、見通しを立て自身で考えて行動できるようになること、また学習意欲を高め、文字や数字などの認識力を高められるよう支援する。 ・絵カードを準備し、一日の流れの見通しを持てるようにする。 ・活動を通して、文字や数などの認識力を高めると共に集中力を養えるようにする。							
	言語 コミュニケーション	友達との関わりを通して、コミュニケーション力の向上を図れるよう支援する。 ・言葉の意味を理解し、やり取りを楽しめるようになる。 ・正しい発音を学べるようになる。							
	人間関係 社会性	社会的なルールやマナーの理解 ・公共の場での過ごし方や集団生活を送る上で必要になる基本的なスキル（挨拶、順番待ち、物の貸借、礼儀作法など）を学ぶ。							
家族支援	・連絡帳や申し送り、面談を通し、お子様の成長や課題の共有、ご家族の悩みの聞き取りを行う。家庭内での悩みや課題、保護者様の思いに寄り添った支援を行う。・レスパイトケアを含めた、ご家族の負担軽減を図る。			移行支援	・お子様の様子について、学校との情報共有。 ・移行先の事業所とお子様の様子についての情報共有。				
地域支援・地域連携	・地域のイベントへの参加や公共施設主催のイベントに参加。 ・関係機関（児童相談所や療育センター）との情報共有。			職員の質の向上	・毎月の療育研究会や研修内容の共有をおこなう事で支援の質の向上へと繋げていく。				
主な行事等	外活動（社会体験）運動会、夏祭り、発表会、クリスマス会、修了式、家族会。								